



令和 6 年度

我が国の知的財産制度が 経済に果たす役割に関する調査報告 書

特許、意匠、商標の動向分析と知的財産がもたらす
イノベーションおよび競争力向上に関する実証研究

令和 7 年 3 月

一般財団法人知的財産研究教育財団 知的財産研究所
(特許庁請負事業)

報告書の概要と全体目的

本報告書は、特許庁の請負事業として一般財団法人知的財産研究教育財団知的財産研究所がまとめたものです



全体目的

知的財産の動向分析による日本の現状把握と今後の展望等の総合的な分析



分析手法

統計学的・計量経済学的手法を用いた知的財産とイノベーション・競争力の関係の実証分析



期待される活用

企業の研究開発・知財戦略の策定、行政機関における産業政策や科学技術政策の基礎資料

主な研究テーマ

テーマⅠ：環境関連発明（GX発明）の波及効果の決定要因

テーマⅢ：発明者の多様性が効果を発揮する条件

テーマⅣ：知的財産活動調査の集計方法の改善

研究テーマⅠ：環境関連発明（GX発明）の波及効果の決定要因

研究の目的

-  GX発明の知識波及効果の定量的分析
-  波及効果を決定する要因の解明
-  バイ・ドール制度（公的資金）の影響分析

研究手法

-  GX発明の特許出願データの統計的分析
-  大学単独出願・産学連携・公的資金の影響検証
-  太陽光発電・風力発電・建築物省エネなど広範な環境技術を対象

政策的示唆

環境技術普及のためには、**大学への研究支援、産学連携の強化、公的資金による研究開発支援**が有効。**特許審査の迅速化**も重要。

主な結果



高い波及効果

GX発明は一般的な発明より波及効果が高い



大学・産学連携の重要性

大学単独出願・産学連携で特に顕著な効果



公的資金の効果

バイ・ドール特許はGX発明の知識波及効果を高める



早期権利化の重要性

早期の権利化が知識波及効果を促進する可能性

研究テーマIII：発明者の多様性が効果を発揮する条件に関する調査

研究の目的と手法

目的

- ◎ 女性発明者や外国人発明者の発明の質が高まる条件の検証
- 👥 多様性がパフォーマンス向上に繋がる組織風土・研究開発方向性の特定

研究手法

- 🔍 特許データと機械学習による女性/外国人発明者の識別
- ” 被引用件数（発明者引用・審査官引用）による発明質の測定
- 📊 女性/外国人管理職比率をインクルージョン指標として活用

主な研究結果

ジェンダー多様性の効果

- ✓ 男女混合チームの発明が女性だけのチームより質が高い
- ✓ 女性管理職比率の上昇は女性発明者の発明の質を高める
- ⚠ 研究開発の方向性（探索型/改良型）で多様性の効果が変わる

国籍多様性の効果

- ✓ 日本人との共同発明は外国人発明者のパフォーマンスを向上
- ✓ 外国人管理職比率の上昇は外国人発明者の発明の質を高める
- ⚠ コミュニケーションコストが日本人発明者に影響の可能性

政策的示唆

多様性の向上だけではパフォーマンス向上に直結しない。組織風土の醸成、研究開発テーマの適切な選定、コミュニケーションコスト低減を含めた包括的環境構築が重要。

研究テーマⅣ：知的財産活動調査の集計方法の改善に向けた検証

調査の目的と方法

目的

- 知的財産活動調査における統計表作成時の秘匿方法の改善
- MAX出願件数階級以外の属性を用いた新たな集計表の有用性検証
- 地域別の知財活動特徴把握のための地方別集計の検討

調査手法

- 知的財産活動調査データの活用
- 秘匿ルールに基づくセル秘匿の実施
- 異なる属性（業種と地方、業種と特許国内権利保有件数階級）での集計比較

主な調査結果

地方別集計の結果

- 業種別に細分化しなければ秘匿セルはほとんど生じない
- 地方別の知的財産活動費の時系列変化から中国・四国や北海道・東北で活動費が増加傾向を確認

特許国内権利保有件数別集計の結果

- 業種別に細分化すると秘匿セルが多くなる傾向（特に2021年度以降）
- 業種で細分化しなければ秘匿セルは生じない
- 1件から10件の階級では知的財産活動費が減少傾向を確認

政策的示唆

地方別の集計は、地域ごとの知財活動の特徴を把握する上で新たな知見を提供する可能性が示唆されました。特許国内権利保有件数別の集計については、適切な階級設定や、特許以外の権利も考慮した検討が今後の課題です。

その他の関連分析結果や示唆

知財投資と事業パフォーマンスの関係

- + 特許・意匠・商標の個別出願は事業パフォーマンス向上に寄与
- + 意匠・商標ストックの蓄積や特許・意匠ストックの同時蓄積もパフォーマンス向上に貢献
- 3種類全ての同時出願・保有はパフォーマンス低下の可能性（知財活動の過度な分散）
- i R&D投資は短期的にはコストだが長期的視点が必要

女性発明者の割合が低い原因（オーストリア事例）

- ジェンダー差別の影響
- 伝統的価値観
- 自己評価の低さ
- 労働市場での機会不足
- 時間的制約

知的財産権とスタートアップ企業（欧州事例）

- ✓ 特許・商標保有が資金調達やエグジット成功確率を高める
- ✓ 広域的な権利保有が特に効果的
- ✓ 特許と商標の両方活用が効果的
- 💡 スタートアップ企業における早期の知財戦略の重要性が強調

グリーン技術分野の国際連携

- 🌐 国際共同発明などの国際連携が技術的多様化に寄与
- ↑ 特に技術的に遅れている国の新たな技術分野への進出確率を向上
- 🔗 補完的な知識を持つ国との連携が有効
- 🔄 既存技術との関連性が高い分野への進出が重要